

令和3年度 第1回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	令和3年6月22日（火）14:00～15:20	
開催場所	二宮町役場 2階 第1会議室	
出席者	委員	出席者 15名（うち代理出席4名）、欠席4名
	その他	傍聴者 なし
	事務局	政策総務部 3名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長及び副会長の選出について 3. あいさつ 4. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度歳入歳出決算について (2) 令和3年度歳入歳出予算について (3) 二宮町地域公共交通アンケート調査結果について (4) にのバスの利用状況について (5) にのバスの利用促進策と今後の検討について (6) 二宮町生活交通確保維持改善計画(案)について (7) 交通不便地域指定申請（案）及び二宮町生活交通確保維持改善計画（案）について (8) デマンドタクシーの休止期間延長に係る証明書について (9) 二宮町地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正（案）について (10) その他 5. 閉会 	

協議会委員出席名簿

No	氏名	所属	出欠	備考
1	志賀 道郎	二宮町政策総務部	○	
2	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	神奈中タクシー株式会社	○	
4	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会	○	
5	林 好治	一般社団法人神奈川県タクシー協会	×	
6	志賀 正也	二宮町地区長連絡協議会	○	
7	西山 一雄	二宮町ゆめクラブ連合会	×	
8	齋藤 仁	二宮町PTA連絡協議会	○	
9	高見 利和	一般公募	○	
10	依田 久司	一般公募	○	
11	三橋 裕	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	代理
12	石井 忠孝	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	○	
13	川田 宗弘	神奈川県平塚土木事務所	○	
14	最上 祐紀	神奈川県県土整備局	○	代理
15	椎野 文彦	二宮町都市部	×	

16	水川 敏幸	神奈川県大磯警察署	○	代理
17	山本 秀裕	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	○	代理
18	梶田 佳孝	東海大学 工学部土木工学科	○	
19	松本 幸生	二宮町健康福祉部	×	

議事概要

1. 開会
2. 会長及び副会長の選出について
3. あいさつ
4. 議題

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

- ・議題（１）令和２年度歳入歳出決算について（報告）

質疑なし

- ・議題（２）令和３年度歳入歳出予算について（報告）

質疑なし

- ・議題（３）二宮町地域公共交通アンケート調査結果について（報告）

○二宮高校への調査について、アンケートの回答数が14件と非常に少ないです。将来の町民のための公共交通をどうするかという話であり、二宮高校は町外からの学生が多いと思うのでターゲットが違いますが、町民でなくても公共交通利用者ではあるので、どこかで説明をしてほしいです。

●おっしゃる通り、二宮高校の約半数の生徒が公共交通を利用して通学しています。今回の回答者の多くがあまり公共交通を利用していない方であるため、今回は結果を紹介していませんが、ご要望があれば公表します。今回、高校生向けにアンケートを実施しましたが、設問を工夫する必要があったというのが反省点です。一般向けの公共交通のアンケートとほぼ同じ設問であったので、あまり的が絞れていない結果となりました。今後実施する際は、設問のあり方から検討していきます。

◎これはインターネットで自発的に回答してもらったのでしょうか。

●そのとおりです。教頭先生から生徒へ声掛けいただきました。

◎インターネット調査について、郵送との関係は何かありましたか。

●まだインターネット回答の深堀ができていません。町内の掲示板や町HPに掲載しましたが、この方法では対象者が絞れません。重複回答や町外の人、町内の公共交通を全く利用していない方からの回答の可能性もありますので、実施するには工夫が必要です。

◎今後の活用において、より回答しやすい方法があるかもしれません。インターネットについて、高齢者もまだ回答は難しいと思いますが、だんだん移行していければと思います。

○移動困難な方が多いところを中心に、地域へのフィードバックはどのような形で行う予定でしょうか。公共交通ですと路線等がある程度限定されますので、路線沿いだけでなく地域全体の交通という形で考えた方が良いと思います。構想があれば聞かせてほしいです。

●移動困難な理由として、バス停までの距離が遠い、交通手段が少ないという回答を数多くいただきましたが、地域の課題は高齢者に対する移動支援になっていくと考えています。

新年度の地区長連絡協議会の中でもそういった意見をいただきましたので、地域にフィードバックする際は福祉部署の者も同行して、もし高齢者移動支援対策の話が出た場合は、福祉の視点からどういったサポートができるかお話できればと思います。実際、富士見が丘では地域の方が独自に組織化して、バス停までの移動が困難な高齢者限定に、支え合いで送迎する取り組みも行われています。そのような事例を紹介しながら、どの分野の課題についてどのような施策を実施していくのかを相談しながら、支援していきたいと思います。

◎この調査結果について、コロナの影響もあると思いますので、注意深く分析してしっかり地域へフィードバックして利用者増加へ向けての政策につなげるようお願いします。

○前は主に 70 代の方に回答をいただきましたが、今回は若い世代の回答が多いので貴重な情報だと思います。先程の調査結果を単純に前回と比較してよいものなのか、交通会議は高齢者に目が行きがちですが、今回、比較的若い層の声が聞けたということで評価できるのであれば、それも加えて公表や資料づくりを丁寧にやっていただければと思います。

●前回の調査がイレギュラーでして、回答数 n が 1,258 件あります。これは 1,000 名の他、交通不便地域である山西地区の一部と富士見が丘地区へ別途回覧で調査したのも含まれてしまっています。今回の 1,000 名対象アンケートは例年やっているもので、20 代・30 代・40 代・50 代・60 代以上の括りで各 200 名ずつ発送しました。前回のアンケートはその中に地区回覧のものも入れてしまっていますが、結果的に全体として若い層の回答が増えたのは事実ですので、結果の深堀をしたいと考えています。

・議題（４）にのバスの利用状況について（報告）

○路線バスと同じような流れとみられます。昨年１～２月から徐々に減り始め、４～５月には緊急事態宣言で売上が５０％減となりました。第２波～第４波が来るたびに減少しており、利用者数が戻らない状況です。新聞にも掲載されていましたが、１００％戻ると意識はバス事業者にはありませんので、少しでもお客様にご利用いただけるように、何らかの策を進めながら頑張っていきたいと思います。

○タクシーは電車やバスの次の移動手段として利用していただいておりますが、昨年の４～５月の緊急事態宣言で利用者数が半減しました。その後、年末年始にかけて急増しましたが、感染者数増に伴い２回目の緊急事態宣言でまた売上が半減しました。今年の４月の終わりから酒類提供禁止となり、今まであった飲酒後の利用が再度激減しました。現在、４割程利用料が減っている状況にあります。タクシーは個別輸送ですので、抗菌施工や低濃度オゾンによる殺菌を施しながら、少しでも利用者に安心してご利用いただけるようしています。

○表の中に運行日数や平均乗車数はありますが、運行本数は入れないのでしょうか。１便あたり何人くらい乗っているのでしょうか。

●路線バスと異なり、コミュニティバスは１日８本とワンパターンに決まっているため入れておりません。

・議題（５）にのバスの運行ルートの見直しについて（承認）

○ルート分岐の統一について、富士見が丘１～２丁目に影響はないのでしょうか。

●富士見が丘は細かく分岐しています。例えば富士見が丘児童館前の近くにお住まいの方が西公園前で降りたとしても歩いていける距離ですのであまり影響はありません。しかし、百合が丘１丁目の２つのルートは距離が離れており、行き来ができません。釜

野交差点東と釜野橋くらい近いと行き来しているようですが、百合が丘坂下や峠公園は難しい状況になります。

○釜野から峠公園、百合が丘坂下までのルートを削除してはどうかというご提案で、その背景としては神奈中の橋団地線が朝晩走っていることが挙げられていますが、橋団地線の状況や使われ方等を教えていただければと思います。

●今後の利用状況等はまだ分からないところがありますが、現在は朝夕の一番利用者が多い時間帯を走っておりますので、通勤通学の利用者が一定数おります。

○釜野・峠公園のところに住んでいますが、日中はバスが走っておらず、朝夕のラッシュ時間帯のみ走っています。現実的には昼間に路線バスも走っておらず、山坂もあり、結構きついなという気はしています。

◎一般のバスは百合が丘坂下と峠公園を走っているということでしょうか。

○南2号前を走っています。

◎百合が丘坂下にはコミュニティバスと一般バスが走っていて、コミュニティバスは日中を走っているため、日中に全くなくなるというところをどうフォローできるかという話になるかなと思います。地元はどのような状況でしょうか。

●地元の方とはこれから調整となります。令和4年10月までに合意が取れなければ、ルートの統合はできないということも考えていかななくてはならないと思っています。

◎昼の時間帯が全くなくなるのは地元の方も気になるかと思いますが、慎重にお願いします。

○停留所の見直しについて、利用率が少なくても利用者がある場合、その方が困ることが出てきます。どこまで考えるかはこれからの議論になると思いますが、例えば停留所を減らすと運行時間や経費はプラスになるのでしょうか。

●使われていないバス停を減らしても通過はしますので、相当数減らさない限り時間短縮にはなりません。ただ、町としては平成29年10月に新しいコミュニティバスを運行開始する際にルートとダイヤを見直し、利用されていないところは効率化していくということを打ち出していますので、廃止に向けた検討は随時行っていきます。ただ、利用者が一人でもいるのであればその方が不便になりますので、地域の了承を得る必要があると思っています。

◎家が少ないところもありますので、もう少し住宅地寄りにバス停を移設するという考えもあるかと思いますが。

○数か月に1回コミュニティバスに乗って利用者を見ていますが、今のルートは理想的なルートだと感じています。

◎ルートの廃止について、ダイヤを変えるということですが、時刻表に規則性がなくなってしまう点については少し検討に時間がかかるかと思いますが。一般バスとの連携も見ながら、お互いがウィンウィンになるような形でできればと思っています。地元との協議の状況によって変わり得ますが、ルート延伸については問題ない一方、ルート再編とバスの廃止については地元とよく協議し、合意が取れば進めていくということでもよろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。

◎周辺自治体では乗り方教室が多く開催されていますが、他自治体では何かやっているのでしょうか。

○やはり乗り方教室が多いです。神奈川県バス協会にご協力いただいて、それに対する補助をいただき実施していますので、お声かけいただければご協力します。

◎高齢者の新型コロナウイルスワクチンの接種状況はいかがでしょう。

●現在 65 歳以上を対象としており、10,000 人中約 7 割が予約済みです。7 月末までに完了する予定で進めています。64 歳以下についても 7 月上旬に接種券を発送する予定です。

○乗り方も大事ですが、コミュニティバスの便利さが実感できればもっと増えると思います。9 時 50 分に寿考園前から乗って中里で降り、買い物をして 1 時間後の便で帰ってくる高齢者が多いです。簡単にダイヤの振替はできませんが、利用者がどう使うかに合わせた施策が利用者を増やすポイントなのではと思います。

●その通りでして、富士見が丘は独自に利用パターンの冊子を作成し配布していました。これにより、富士見が丘・松根地区の利用者が非常に多いです。先程のバス停ごとの利用状況のデータからも読み取れます。この例を各地域にも広めたいと思っており、例えば地域の通いの場でアナウンスする等の取り組みをしたいと思っています。

◎利用者の状況を把握してそれに合わせた形で、いろいろなパターンを作っただけであれば使い勝手が良くなると思います。そういった利用促進も含めてお願いするということではよろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。

・議題（7）交通不便地域指定申請（案）及び二宮町生活交通確保維持改善計画（案）について（承認）

◎新しく委員になった方のために交通不便地域の説明をお願いします。

●国の定める交通不便地域は、各バス停から 1 km 離れた地区が対象となります。町内にはそういった場所はありませんが、山坂が厳しく移動困難が生じるので、国に特別に認めていただいております。山西小学校の向いの急坂地帯の住宅街と、富士見が丘 1 丁目の上の方の地域が該当しています。

◎これは毎年提出しているのでしょうか。

●生活交通確保維持改善計画は毎年、交通不便地域指定申請は 5 年に 1 回提出しております。

◎運輸局さんと申請書のやりとりの最中ですので、若干表現の修正はあると思いますが、これで概ね問題ないということではよろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。

・議題（8）デマンドタクシーの休止期間延長に係る証明書について（承認）

◎これは 4 年間くらい休止を延長しているようですが、2 年に 1 回発行しているのでしょうか。

●毎年発行しております。

◎今後再開する場合は、他地域でも導入できるのでしょうか。

○コースの変更申請を出して許可を得れば可能です。全く廃止してしまうと一からとなつて、事業そのものが無くなってしまうことになります。坂も多いので将来、デマンドタクシーが必要になる方が幾分かいらっしゃるのであれば、証明書を残しておいていただけたら、いざ実施しようとなつた際にすぐに運行できます。

◎以前は予約の仕方等、使い勝手が悪かつたということもありましたが、最近はA I 等も進化しており、そういう意味で使えるようになってきているとは思いますが。では今回は休止期間延長ということによろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。

・議題（9）二宮町地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正（案）について（承認）

◎書面会議の規定について、要綱に入れるということによろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。

・議題（10）その他

●事務局から2点お知らせします。まずコミュニティバスのルートの見直しについて、今年度末の第3回の会議で決定しないと来年10月のルート改編に間に合わないため、途中経過を今年度の第2回の会議で報告させていただく、というスケジュールを考えています。2点目は、例年、出席報酬が発生する委員の皆様には、年度末の最後の会議で請求書をいただいておりますので、今年度も同様の取扱いをお願いします。

◎バス停は交差点から5m離さなくてはならないという問題は、二宮町もあつたのか。

○横断歩道から5m以内にあるバス停はA～Cのランク付けがされ、Aランクに指定されると対応しなくてはなりません。

○該当バス停があれば町と営業所が必ず対応していますので、おそらくないと思います。町内外問わず、当然、Aランクのバス停は早々に営業所が対応しています。

◎大磯警察署からは交通事故で何か問題等がありますでしょうか。

○公共交通の部分で一番関わるのは高齢者の運転免許の返納です。事故を起こした方や、戸別訪問等で返納を勧めていますが、交通手段がなくなるという声も聞きますので、積極的に返納を呼びかけるのも難しいというのが現状ですが、町ではコミュニティバスも走っている等、公共交通を利用するように声掛けをしています。

◎免許返納について町では何か取り組んでいますか。

●コミュニティバスのチラシを大磯警察署に配架させていただいております。そのチラシを見て役場に来庁される方も何名かいらっしゃいました。ただ、高齢者事故が多発し社会問題化していた時に比べ、来庁者は減っておりますので、免許返納制度の普及についても検討する必要があると思います。

以上